

**「横浜市都市計画マスタープラン 中区プラン」  
改定原案に対する市民意見募集の実施結果について**

中区では、「横浜市都市計画マスタープラン 中区プラン」の改定にあたり、令和元年6月に改定原案を公表し、市民意見募集を実施しました。市民の皆さまから、貴重なご意見、ご提案等を頂き誠にありがとうございました。

このたび、その実施結果と、いただいたご意見等について本市の考え方をまとめましたので、次のとおり公表いたします。

**1 実施概要**

意見募集期間	令和元年7月1日(月)から7月19日(金)
意見提出方法	郵送、FAX、電子メールまたは持参
改定原案(全文)の公表場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中区区政推進課</li> <li>・ 区内各地区センター</li> <li>・ 市役所市民情報センター</li> <li>・ 都市整備局地域まちづくり課</li> <li>・ 中区ホームページ</li> </ul> <p style="text-align: right;">(<a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/naka/kurashi/machizukuri_kankyo/machizukuri/10toshimasu.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/naka/kurashi/machizukuri_kankyo/machizukuri/10toshimasu.html</a>)</p>
改定原案(全文)の配布場所	・ 中区区政推進課

**2 実施結果**

提出者数	4名
提出方法	郵送(1名)、FAX(0名)、電子メール(3名)
意見数	22件

**3 提出されたご意見とご意見に対する本市の考え方  
ご意見の反映状況による分類と件数**

分 類	件数	番号No.
(1) 改定案に反映したもの	6件	1～6
(2) ご意見の趣旨が改定原案に(一部)含まれていると考えられるもの	1件	7
(3) 今後の参考とさせていただくもの	5件	8～12
(4) 計画には反映しないが対応するもの	0件	—
(5) 関係機関と情報共有するもの	7件	13～19
(6) 計画にご賛同いただいたもの	2件	20～21
(7) ご意見ではなくご質問であったもの	1件	22
(8) その他	0件	—

分類別のご意見の概要とご意見に対する考え方

(1) 改定原案に反映したもの

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
1	<p>市区庁舎・消防署・病院などの重要拠点において非常時にエネルギー源を確保するためには、多重化・多様化の観点が必要不可欠で、重油や灯油、液化石油ガスなどの備蓄燃料は当面のストックとしては役立ちますが、備蓄が途絶えた際に配送面で交通事情の影響を受けることになります。また、非常用発電機は、あくまで非常時の用に供する仕様となっている為、長時間運転には向いておらず、停電が長期に渡った場合に運転停止のリスクがあります。</p> <p>これらのデメリットを補完するものとして、防災負荷の他に保安負荷への給電機能を担う停電対応機能付の高効率自立分散型電源の導入により、防災機能の向上が図られると考えます。特に病院・医療施設や公共施設など重要拠点や地域防災拠点においては、災害時においてもエネルギーの確保を実現するため、耐震性の高い中圧ガス導管を活用した高効率自立分散型電源により電源の多重化を図り防災機能の向上を推進しています。</p> <p>以下の通り中区における具体的な事例をご紹介しますので、コラムとしての掲載についてもご検討ください。</p> <p>《コラム4》神奈川県警本部における防災性向上の取組</p> <p>神奈川県警本部(中区海岸通)には、停電時も運転することが可能な都市ガスを燃料としたコージェネレーションシステム(CGS)が設置されております。通常時には、当該設備から発生する電気と熱を建物内の空調負荷や給湯負荷等に有効利用することで省エネ・省CO<sub>2</sub>を図ることができ、非常時(停電時等)には建物内の重要な電力負荷に電力供給を継続することで、建物内の機能維持に貢献いたします。尚、当該設備に対する都市ガスの供給は、阪神大震災や東北大震災でもガス供給を継続した耐震性の高い中圧ガス導管を介して供給を行うため、非常時においてもエネルギー供給を継続する事が可能です。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、P69「2-4 都市防災に関する方針《方針3》災害に強い体制づくり」に、新たな方針として「災害時の応急活動、最低限の事業活動や居住環境の維持のため、コージェネレーションシステムによる高効率自立分散型電源の導入等を推進し、防災機能の向上を促進します。」を追加しました。</p>

2	改定原案P20 精神障害者数について、中区の人数が多い理由は何でしょうか？今後の10年、20年で変わらない構造的な事でしょうか？港湾労働者の高齢化、失業があり、失業者への再教育等施策があるので、割合は減少してゆくと想定されます。図に横浜市全体を追加してほしい。	いただいたご意見のとおり、P20「図1-21障害者の割合(区別)(平成30(2018)年度)」に横浜市全体のデータを追加しました。 なお、中区の総人口に対する精神障害者等基礎把握数の割合が他区に比べて高い理由については、分析等を行っていないため正確に把握できておりません。
3	改定原案P27 混雑度の説明文の字が小さくて読みにくいです。	いただいたご意見のとおり、P27「図1-34主な道路の混雑度」の凡例「混雑度」に関する説明文の文字サイズを修正しました。
4	改定原案P30 大岡川桜棧橋やシーカヤックの写真を追加してほしい	いただいたご意見のとおり、P30「1-1中区の成り立ちと現況(7)都市環境①水辺」に、大岡川桜棧橋とシーカヤックの写真を追加しました。
5	改定原案P31 新規にできた公園の写真をのせてほしい	いただいたご意見のとおり、P31「1-1中区の成り立ちと現況(7)都心環境④公園・緑地」に、北仲通北第一公園の写真を追加しました。また、代表的な公園である山下公園の写真を追加しました。
6	不燃化推進地域に関して、2022年までの減災目標をもう少し説明してほしい。進捗は？倒壊1/2、延焼1/2、死者1/2が望ましい。	いただいたご意見を参考に、P70「2-4 都市防災に関する方針」の「《コラム2》横浜市地震防災戦略における地震火災対策方針」に減災目標の考え方を追記しました。横浜市全体の令和4(2022)年度までの減災目標については、「被害を最小限に抑える」「発災時の混乱を抑え、市民の命を守る」「被災者の支援と早期復興を図る」の3つの基本目標と、「死者数50%減少」「建物被害棟数(全壊・焼失)50%減少」等の9つの目標を定めています。詳しくは「横浜市地震防災戦略」P9をご覧ください。(https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/bosaikeikaku/senryaku/senryaku.html) 減災目標に対する全体の進捗については、現時点でとりまとめておりませんが、「死者数50%減少」「建物被害棟数(全壊・焼失)50%減少」を達成するための取組のうち、重点対策地域(不燃化推進地域)における耐火性の高い建築物への建替え件数は、令和4(2022)年度までの目標値5700棟に対し、平成30(2018)年度末時点の実績が2685棟と、目標達成に向け、順調なペースで推移しています。

## (2) ご意見の趣旨が改定原案に(一部含まれている)と考えられるもの

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
7	『廃屋・廃ビル対策について』 すでに、私の住んでいる近くに廃屋が1棟、山元町のバス通りに廃ビルが1棟あり、この先も少子高齢化に伴い、廃屋などが増えていくのではないかと危機感を覚えます。 廃屋等への迅速な対応ができる体制を整えてほしいです。	空き家の取り組みについては、P68「2-4 都市防災に関する方針 《方針1》地震や地震火災等に強いまちづくり」や、P108「3-2エリア別方針 (4)本牧・根岸エリアのまちづくり《方針1》安全・安心な生活環境の維持・向上」に記載しています。いただいたご意見は関係部局と情報を共有します。

(3) 今後の参考とさせていただくもの

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
8	<p>狭あい道路の整備幅に触れていますが、より踏み込んで、「行政は、地元関係者との協議を積極的に行い、狭あい道路幅整備推進路線の指定拡大を推進します。」と区プランに明記することを提案します。</p> <p>狭あい道路幅整備事業は一部国費で賄われる事業である以上、国費の有効活用を通じ地域へ利益をもたらすという観点から、建築局や区役所はより積極的に地元に出て、制度の説明や条例指定の手続、メリットの解説などを行っていただきたい。</p> <p>「地域から申請があれば対応します」という受身的な建築局の業務執行体制の変更を強く要望します。</p>	<p>整備促進路線の追加指定を行う狭あい道路は、地域の安全性や利便性の向上に寄与する生活道路であり、指定を受けようとする道路の関係権利者の同意が得られていることなどの条件を満たす必要があります。また、現地の道路形状等も鑑みて判断しています。</p> <p>いただいたご意見は関係部局と情報を共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
9	<p>市道山下町321号線の狭あい道路幅整備推進路線への指定推進について中区プランに記載していただきたい。</p> <p>同市道は狭あいで救急車が登ってくることができず、生活の維持に深刻な影響を及ぼしています。</p>	<p>整備促進路線の追加指定については、地権者の合意形成等一定の条件を満たす必要があるものであるため、いただいたご意見は関係部局と情報を共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
10	<p>改定原案P77</p> <p>身近な交通の維持・充実の中で、「～エリア内で行われている民間送迎バスとの連携」とあります。</p> <p>病院やスポーツクラブを推測しますが、これからも増えると考えます。水泳を学校で教えなくてよいという報道がありました。クラブ活動も民間事業者やNPOでできることもありそうです。</p>	<p>いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
11	<p>改定原案P77</p> <p>環境配慮・次世代交通の推進</p> <p>～カーシェアリングの促進とあります。とても良いと思います。他区では見ません。</p> <p>都心部(中区、西区、南区)は行政から始めてはいかが？(神奈川県も含む)</p> <p>各区区役所の公用車を削減してカーシェア利用にしてはどうか。</p>	<p>いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
12	<p>改定原案P83</p> <p>「横浜らしいアフターコンベンション～ナイトタイムエコノミー～」とあります。</p> <p>主要な博物館や美術館を夜遅くまで営業してはどうか。</p>	<p>いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>

(4) 計画には反映しないが対応するもの

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
—	—	—

(5) 関係機関と情報共有するもの

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
13	『石川町駅元町口のバス停設置について』 バスを使い石川町駅(元町口)を利用しようとする と元町バス停で下車し、そこから数分歩かなければ ならず非常に不便です。また、高齢者からしたら もっと不便に感じているのではないのでしょうか。 そこで、必要があれば車道を拡幅したうえで、朝 ラッシュ時だけでも小型バスを元町口前まで乗り 入れるようにできないかと考えます。	いただいたご意見は関係部局と情報を共有します。
14	『元町・中華街駅留置線計画について』 元町・中華街駅の先に留置線を作る計画があり ますが、中区、そして横浜市としてこの計画に賛 成の立場をとっていただきたいです。もちろん鉄 道会社が行うことは重々承知ですが、留置線が できればみなとみらい線内の増発が今に比べ容 易になり、みなとみらいの再開発による利用者増 に対応でき、元町や中華街の観光客数増にもつ ながると考えます。横浜高速鉄道に対してできる 支援がもしあれば、行政が積極的に行ってほし いと考えます。	いただいたご意見は関係部局と情報を共有します。
15	『市庁舎跡地について』 あまり高くない建物で緑地やせせらぎを多くして ほしい。(高度処理水利用) 地下を深く利用してはどうか。大規模駐輪場な ど。	現市庁舎街区の活用について、市庁舎移転後の関 内・関外地区の賑わい創出を図るため、公募型プロポ ーザル方式により、土地の貸付を行います。「横浜市 現市庁舎街区等活用事業実施方針」(平成29年3月 策定)に基づき、「国際的な産学連携」「観光・集客」を テーマとした周辺地区の活性化、関内・関外地区の再 生、ひいては、都心臨海部の活性化につながる提案 を求め、令和元(2019)年9月に事業予定者を決定しま した。詳しい内容につきましては、現市庁舎街区活用 事業のホームページ( <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/tosai/kannaiekisyuhen/koubo190111.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/tosai/kannaiekisyuhen/koubo190111.html</a> )を ご覧ください。いただいたご意見は関係部局と情報を 共有します。
16	『脱炭素について』 ZEHの義務化など温暖化緩和策を都心部の区 は進めてほしい。	ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)については、ZEH の新築または新築建売住宅を購入する市民に対し て、要する費用の一部を補助する「横浜市ZEH(ネッ ト・ゼロ・エネルギー・ハウス)普及促進補助制度」の実 施により、普及啓発を実施しています。いただいたご 意見は関係部局と情報を共有します。
17	『米軍根岸住宅について』 基本的にオープンスペース、公園、緑地、貸農 園など震災時の仮設住宅や災害廃棄物の置き 場などに使える様にする。	都心部周辺では、米軍根岸住宅地区のようにまとま った広大な土地は貴重な財産です。土地所有者の皆様 や地域の皆様のご意見を丁寧に向いながら、広大な 土地や立地等を生かした跡地利用の検討を加速しま す。 いただいたご意見は関係部局と情報を共有します。

18	『山手駅について』 駅前にバスターミナルを作ってほしい。小さくてよい。	いただいたご意見は関係部局と情報を共有します。
19	中区になくてもいいのですが、火葬場が必要だと考えます。	中区内に斎場(火葬場)を整備する計画はありませんが、鶴見区大黒町で新たな斎場(東部方面斎場(仮称))を整備してまいります。詳しくは、東部方面斎場(仮称)の整備についてのホームページ( <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/saijo/to-saijou-seibi.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/saijo/to-saijou-seibi.html</a> )をご覧ください。いただいたご意見は関係部局と情報を共有します。

(6) 計画にご賛同いただいたもの

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
20	感震ブレーカーの普及がコスト対効果で高いと考える。 改定原案70ページのブレーカーは安そうである。 無償配布も良策である。	ご評価いただきありがとうございます。
21	本郷町3丁目の防災まちづくり 良い取り組みの事例だと考えます。本郷町3丁目だけでなく、広がっていくといいです。	ご評価いただきありがとうございます。

(7) ご意見ではなく御質問であったもの

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
22	改定原案P53 臨港道路が計画されていますが、これは海底トンネルでしょうか？	臨港道路(計画等)については、橋梁やトンネルなどの構造形式も含め、検討しております。

(8) その他

No.	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
—	—	—